

第9課 彼らの心を変え 11月27日

1. イスラエルの背教の預言

- ①申命記 4 章 22～26 節。モーセは、イスラエルの子らがついに約束の地に
住み着いた後の彼らに関して、どんな預言を与えましたか？
- ②この預言は、いつ成就しましたか？ 士師記 2 章 7～13 節。
- ③モーセは、彼らの子孫について、どんな付加的な預言を与えましたか？
申命記 4 章 27～28 節。
- ④この預言は、いつ成就しましたか？ ダニエル書 1 章 3 節、エレミヤ書 52
章 28～30 節。
- ⑤これらの預言は、避けることができなかつたものですか、それとも、こ
れらの大惨事は、避けることができましたか？

2. 失敗の時に、主を求めるといふ預言

- ①申命記 4 章 29 節。なぜ、全心全霊をもって、主を求める必要があるの
ですか？
- ②何世紀も後に、イスラエルの子らに繰り返された同じ訴えは、どこにあ
りますか？ エレミヤ書 29 章 11～14 節。
- ③大きな失敗の後に、全心で主を求めた、聖書の人物の物語をシェアして
ください。（ダビデ王—詩編 51 編 3～13 節 [1～11 節、口語訳]、他）
- ④失敗の後、全心で主を求めた時のことをシェアしてください。主は、あ
なたの嘆きに、どのように応えましたか？

3. 心を変えるといふ預言

- ①申命記 4 章 30 節。「主のもとに立ち帰る」といふ表現の意味するところ
は、何ですか？

- ②悔い改めは、心の変化と、方向の変化を含みます。聖書の中の人物で、
悔い改め、Uターンを生涯のうちにした例を挙げてください。
- ③なぜ、主を求めることは、しばしば方向の変化を要求するのですか？
- ④主に立ち帰る時に、あとに残さなければならないことは、何ですか？
- ⑤モーセが、全心で主を求め、主に立ち帰る者に与えている確信はどんな
ものですか？ 申命記 4 章 31 節（イザヤ書 55 章 6～7 節も参照）。
- ⑥本物の悔い改めのうちに主を求めることには、方向と行為の変化が含ま
れるというアイデアを強化する、預言者バプテスマのヨハネのメッセ
ージは、どんなものですか？ マタイによる福音書 3 章 1～8 節（ルカに
よる福音書 3 章 10～14 節も参照）。
- ⑦マルコによる福音書 1 章 15 節に記されているイエス様の宣言「悔い改
めて福音を信じなさい」について、議論してください。なぜ、本物の悔
い改めと福音を信じることは、共に密接につながっているのですか？
- ⑧聖霊による、主に立ち帰るようという召しに気づいた人々に、ペンテ
コステの日にペトロが与えた付加的な訴えは、どんなものでしたか？使
徒言行録 2 章 38 節。
- ⑨「悔い改めるべきことは知っているけれど、気が進まないだけ」と言う
友人に、どのような勧告をあたえますか？